

号外!!

あだち広報11月25日発行分に舎人あかしあ園利用者の方がインタビュー、写真掲載されることになりました。あだち広報には、11月30日より足立区役所で開催される『ADACHI障がい者アート展』に出展される皆さんとして紹介されます。

あだち広報だけではなく、足立区ホームページやSNSなどにも掲載が予定されております。是非、作品、インタビューをご覧ください。(記 河瀬)

研修報告・防災訓練

内部・外部研修では、職員の資質向上や情報共有を目的として実施しています。※コロナ感染拡大に伴い、外部研修の参加は主催者側の感染症対策を考慮しながら参加しています。(記 河瀬)

○内部研修

- ・6月29日、7月11日 医療的ケアマニュアル読み合わせ
- ・8月30日 生活介護利用の手引き読み合わせ
- ・10月5日 てんかん—発作と介助—
- ・10月13日 腰痛予防研修

○外部研修(オンライン含む)

- ・7月25日、8月21日 ハラスメント研修
- ・7月26日、8月4日、25日 強度行動障がい支援者養成研修
- ・8月2日 虐待防止、権利擁護研修

○防災訓練

- ・10月12日 消火器訓練
- ・10月24日 全体避難訓練(火災想定)

写真：腰痛予防研修の様子



写真：消火器訓練の様子



編集後記

暑さも落ち着きすっかり秋めいてきましたね。人舎人35号はいかがでしたか？今後も皆様の日々の活動やイベントの様子を投稿させていただきます。(記 齋藤)

ひと舎とひと



社会福祉法人あいのわ福祉会

Social Welfare Juridical AINOWA Organization

第35号

令和5年11月17日発行

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町2-25-11 TEL03-3854-1741 FAX03-3854-1742

社会福祉法人あいのわ福祉会 舎人あかしあ園 発行責任者 市原純哉

地域交流イベント第一弾 自由研究!!



夏休み企画として、近隣小学生を対象に、寄付でいただいた材木を使い「木で遊ぼう・つくろう」イベントを開催しました。思い思いの作品が出来上がり、楽しそうでした。(記 市原)



地域交流イベント 第二弾 開催決定!!

12/26(火)に地域交流イベント第2弾として、イベントを開催します。舎人あかしあ園の駐車スペースを利用し、「年の瀬マルシェ」を行います。食べ物や雑貨のお店が出店予定になっています。ぜひお越しください。(記 市原)



1便より

1便グループは秋ならではの自然に触れる体験を楽しんでいます。今回は定番のドングリや松ぼっくりに加えて、栗の実がついたままの枝も用意してみました。お店で売っているものは馴染みがあっても木になっている状態は見る機会が少ないですね。せっかくなので枝ごと持ってみて重さを感じたり、トゲトゲの殻にも触れてみました。

また、創作活動でも利用者さんが思う「秋の味覚を」立体物で表現してみました。モンブランケーキや柿、ハンバーガーのバンズなど、個性が輝く作品作りができました。作品はしばらく園のロビーで展示中です。(記 安藤)

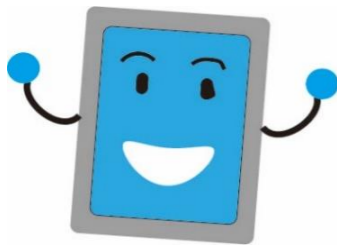


2便より

『 ICT(情報通信技術) を使った合理的配慮 ～iPadチャレンジ～ 』

2便グループでは、作業・活動後の個別活動でiPadを使用した取り組みが広がりを見せており、現在6名の方がチャレンジしています。

iPadを日本語音声で操作しsafari・youtube・レイアウトアプリを自由に操作したり...耳で情報を得たい方が「音声読み上げ機能」を使ったり...画面をタッチすることが困難な方が容易に操作できるような方法を習得したり...また、話し言葉で意思を伝えるのが困難な方に向けたコミュニケーションアプリを利用し、意思表示をしたり...余暇時間に時計学習アプリ・楽器アプリ・遊びを通じた操作によってリハビリテーション効果が期待できるアプリ等を使用し「心地よい学び」にチャレンジしている方もいます。



また、前年度から稼働している、音声アナウンスシステムをベースに、作業活動開始・終了・帰宅の時間等、利用者の方が「時間に合わせた行動」を意識する取り組みを行っています。

時間を意識していく中で、ご自身の興味や好奇心を大切にしが付かないうちに新たな世界へのチャレンジとなっている様子が見えます。(記 大津)

施設内イベント 動物ふれあい&ドッグショー



9月26日(火)、施設内イベントとして「動物ふれあい教室アニマルシップ」さんに依頼し、犬たちとのふれあい&ドッグショーの鑑賞をしました。前日までは楽しみにしている方や、「怖い、苦手」という方もいましたが、当日になり実際に犬たちを目の当たりにすると「ちょっと触ってみようかな」と、気持ちが変わった方もいて、勇気を出して手を伸ばし、優しいタッチで撫でてみたり、抱きかかえたりして、苦手意識を克服していました。犬たちは初めて訪れる場所に緊張して最初は吠えることもありましたが、利用者の皆さんが期待を持って温かく受け入れてくださったので、次第にリラックスして本来の元気さや愛らしさを存分に発揮し、普段の活動ではなかなか体験できない貴重な時間を私たちに提供してくれました。(記 安藤)



看護師より

9月よりお世話になっております看護師の押江しのぶと申します。荒川区から通勤しております。利用者の方と日ごろの活動や健康管理等を通じ、充実した日々を過ごせたらと思っております。慣れないことも多いかと思いますがよろしくお願いたします。(記 押江)

